アンケート対応作業メモ

凡例 二重線：削除 強調，下線：追加

通し番号　502 ＨＰ番号 第5章　平面交差の幾何構造 　6. 交差点における路面表示 　　6.1.1　停止線 ・（１）②で「その手前 1～2m の位置に設置する。」と書いてあるが、運転席からボンネットの先を見て停止線で止まれば良いことであるが、1m ぐらいの余裕で横断歩道があると危険である。実際 1m で実施はしておらず 4m ぐらいで実施しているので 3～4m に訂正する。 ＜対応方針：参考文献等を記載する（路面標示の手引き等）。＞
○作業の進捗状況 　路面表示の手引き中の記述も「その手前 1～2m の位置に設置する。」となっているため、参考文献等を記載するという対応を実施することはやめ、セミナーや同一内容に関する他の箇所の記述内容を踏まえ、修文する。

（記述案）

6.　交差点における路面標示

6.1　交差点内に設置する路面標示

6.1.1　停止線

(1)　停止線の位置における一般的留意点

①停止線は，原則として車道中心線に直角に設置する．

②横断歩道がある場合は，その手前 ~~1～2m~~ 約 2m の位置に設置する．

③交差道路側の走行車両を十分な見通し距離をもって視認できる位置に設置する．

④交差道路側の右左折車の走行に支障を与えない位置に設置する．

⑤交差点での二輪車の巻き込み事故防止には，二段停止線を設置する場合がある．